



町制施行55周年記念式典を 挙りました



5月28日に中央公民館で町制施行55周年記念式典を挙り、清水町長の式辞、奥田議長のあいさつにつづき、功労者表彰と感謝状の贈呈が行われました。

▶問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

式辞

百花繚乱、色とりどりの花々が咲き誇る、春のこの佳き日、播磨町町制施行55周年の記念式典を挙りました。このたび55周年を迎えることになりました。古き時代より、瀬戸内に面した穏やかな、そして豊かな地域であり、日本で初めて新聞を発行した新聞の父「ジョセフ・ヒコ」や、新井を開拓し豊かな恵みをこの地にもたらした「今里傳兵衛」などを輩出したまちでもあります。半世紀前、激しい合併論争が町を二分するような状況になった時もありましたが、その論争に終止符が打たれた時、住民の声として期せずして起こってきたのが、村名の変更と町制の施行でありました。急激に発展する播磨臨海工業地帯の重要な一角を占める本町が、独自の道を歩むのに

ふさわしい名前をとるの願いが、阿閉村を播磨町に変更し、即日、町制を実施することになりました。当時の人口は、9千363人。行政区域の面積もわずかに6平方メートルと県下で一番小さな面積のまちでございました。その後、昭和47年3月に新島が、また昭和50年8月には東新島が埋立てを完了し、海岸部に大規模な工業団地が誕生いたしました。現在新島では60社以上の企業が操業しております。そして、町域は9・13平方メートルとなり、それでもなお、県下で一番小さなまちではありませんが、人口は現在3万4千590人と県下のまちでは一番多くなっております。阪神間にも近く、交通至便なまちとして宅地化も進み、昭和50年代には急速に人口が増加し、学校や体育施設などまちの基盤整備が急ピッチで進められました。その後コミュニティ施設や公園、健康福祉施設、下水道施設など、快適な都市環境の整備に努めてまいりました。平成15年には住民の念願でありました「JR土山駅」の橋上化も完成し、平成23年駅南の町有地への病院誘致、昨年には隣接地に複合商業施設が誕生いたしました。大きく様変わりした土山駅周辺は播磨町の玄関口として新たな顔を見せ、終日にぎわっております。また、町制施行と同じ年に発見された大中遺跡は国指定の史跡となったのが50年前であり、10年前に県立考古博物館が開館し、周囲の公園整備とあわせて緑豊かな空間として、町民のみ



ならず多くの来訪者に愛されるスポットとなっております。財政面におきましても、新島や臨海部の企業活動にも支えられ、県下でも上位の財政力を誇る自治体として堅実な歩みが続けてまいりました。また、平成27年には播磨町の南部を横断する町道「浜幹線道路」が全線開通し、その沿線となる東部地域では現在宅地開発が急ピッチで進められております。特に、近年、子育て支援にも力を入られてまいりましたので、合計特殊出生率も上昇を続け、若い方々からも「子育てしやすいまち」とのお声を、多くいただいております。謹んでお礼申し上げます。こうした播磨町の今日の発展は、これまで町政に携わっていただいた多くの方々のご尽力と、先人たちの熱き思い、住民の皆様方の温かいご協力によるものと深く感謝いたしております。謹んでお礼申し上げます。

「第4次播磨町総合計画」のキャッチフレーズ「まちがいきいき きらめく播磨 未来につなげる みんなのまちづくり」をモットーに、住民、地域、企業、各種団体、議会、行政がともに手を携え、活力と魅力あふれる町づくりを推進してまいりたいと思っております。皆様方のなお一層のご支援とご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。次第でございます。終わりに臨み、皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げますとともに、今後より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。式辞といたします。

平成29年5月28日
播磨町長 清水 ひろ子

表彰受賞者 (五十音順・敬称略)

功労者表彰

- 自治の振興発展に貢献されました 森野 六男
- 社会功労表彰 地域福祉の充実並びに住民生活の安定に貢献されました 黒石 進
- 中川 富貴子
- 橋本 俊彦
- 坂東 恵美子
- 藤原 成悦
- 三上 年一
- 光田 和子

文化功労表彰

- 教育及び文化の振興に貢献されました 安東 香織
- 井上 浩義
- 塚崎 猛
- 本谷 かをる

文化功労団体表彰

- スポーツの振興に貢献されました NPO法人スポーツクラブ21はりま
- 産業功労賞 産業の振興発展に貢献されました 岡本 章男
- 杉原 智

特別功労者表彰

- 自治特別功労表彰 多年にわたる自治の振興発展に貢献されました 田中 久子
- 藤田 博

感謝状

- 長年にわたるボランティア活動などで地域に貢献されました 浅原 祐子
- 王子 幸子
- 楢 美江
- 草部 芳彦
- 藤本 貴久子
- 三上 菊
- 金のすず
- 播磨町ことぶき大学学生自治会
- ザ・タンポポ
- サイトピー
- 地活会
- 点訳ボランティア ほほえみ
- トウィンクル
- 日本語教室はりま
- 野の花
- 播磨マジッククラブ
- ハンドベルの会
- 木曜会
- 町への寄付を賜りました 播磨ライオンズクラブ
- 町制施行55周年記念ロゴマークを制作いただきました 永見 保

播磨町ふるさと賞受賞者の臨席

式典会場には、歴代の播磨町ふるさと賞受賞者も臨席していただきました。

左から濱口孝太さん(平成22年度ふるさと賞 サッカー)、西山達也さん(平成23年度ふるさと賞 ボウリング)、梶谷達郎さん(平成22年度ふるさと賞 陸上競技)。今後のさらなるご活躍に、期待しています。



オープニング演奏

記念式典は、岡部祐希さん(古田在住)の迫力ある三味線のオープニング演奏に、大きな拍手がわきあがる中で幕が開きました。

岡部さんは、幼いころから祖母の影響で民謡を始め、平成27年、28年、29年桜花グランプリ争奪津軽5大民謡全国大会津軽じょんから節の部3連覇などの多くの優勝経験があります。

播磨南高校の音楽類型で学び、現在は武庫川女子大学音楽部に在籍しています。

